

図書館

Library



武家屋敷に倣った和風の外観。熊本地震をはじめ近年の自然災害による歴史的建造物の被害を鑑み、飩肥格子や下見板張り、日本瓦など伝統建築の意匠を継承しながら、基本性能が高く地震・台風等に強い建物をツーバイフォー工法で実現した。また、屋根遮熱通気工法など独自の技術を採用して宮崎の夏を快適に過ごすためのパッシブソーラーデザインが取り入れられている。



歴史的景観に配慮した文教施設

ツーバイフォー
2×4 こども図書館

本施設は旧飩肥藩の城下町として知られる宮崎県日南市の歴史的風致地区重点区域に建てられました。区域内の新築計画には同市が主催する審査会の承認が必要とされ、伝統的な外観デザインを遵守することを条件に、耐震等級3の確保と省エネ性能の確保、コストや工期など合理的な理由でツーバイフォー工法による提案が採用されました。

事業主からのリクエストは、内と外がつながる健やかでモダンな図書館。南側の開口からたっぷりの光を取り入れ、飩肥格子で日射量を調整する設計となっています。1階は子供たちが本に親しむためにオープンでありながら場所ごとにさまざまな表情をもつ閲覧室と書庫がつけられました。壁全体に本棚が造り付けられた階段を上ると、読み聞かせや講演の場となる2階のコミュニティスペースが広がります。

構造物は横架材を除いて土台・大引・スタッド・構造用合板などを九州産のスギまたはヒノキの枠組壁工法用JAS製材とし、外壁や化粧材・下地材等はすべて地元の飩肥杉が用いられ、木の温もりや機能性を随所に活かした建物となっています。「地方の公共木造建築への参入の幅を広げることに貢献できればうれしいです」と設計者は話します。



カーブを描く吹抜け階段の壁全体に本棚が造り付けられている。



「思考の樹」と名付けられた回り階段を中心に、書庫と閲覧室が一体に設計された1階。「入園当初は抱っこやハイハイだった赤ちゃんが成長して視線が変わり、見つける本が変わっていくことを意図しました」と設計者。書庫コーナーは床が2段高くなっていて腰掛けられる。飩肥杉の床は製材工程で浮造りのような風合いが出た。



(左) オープンな書庫コーナー。(右) ガラス戸が設置された明るい玄関。広い土間には手洗いコーナーがある。庭に面する大開口はまぐさを天井に納めてある。飩肥格子は全開も可能。



構造物の九州産材使用率は5割以上。



屋根通気遮熱工法の採用により、小屋裏を活用した2階コミュニティスペース。読み聞かせの場となり、子育て講習会等の利用も想定されている。食文化を継承する場にもなるようキッチンも配置された。

物件概要

日南幼稚園 こども図書館

所在地：宮崎県日南市
用途：幼児向け図書館
構造：枠組壁工法
規模：2階建て
敷地面積：996.24㎡ (301.36坪)
建築面積：123.39㎡ (37.33坪)
延床面積：166.17㎡ (50.27坪)
1階：120.07㎡ 2階：46.10㎡
事業主：学校法人黒田学園
設計：(株)建図宮崎 矢野崇幸
構造設計：さとみ設計室
施工：(株)建図宮崎
建方工事：(株)ビッグハウス
工期：2020年10月～2021年4月
法規制：第一種住居地域
(建蔽率60%、容積率200%)
法22条区域

